



全国学力・学習状況調査の結果及び分析・方策について②

【学習への取組や学習環境などに関する調査をうけて】

この調査は質問紙によって、学校や家庭での生活や学習の状況を尋ねたものです。これまでの調査から、学力と生活環境は関係が深いと言われています。県や全国に比べて、本校の3年生には次のような特徴が見られます。

【望ましい傾向の項目】（肯定的回答が全国平均より多い(3P以上)。◎は特に多い(8P以上)。）

- 朝食を毎日食べていますか。
- 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの1時間以上、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）。
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- 新聞を読んでいますか。
- 1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を使用しましたか。
（その他、ICT関係の質問7問中4問が◎、2問が○であった。）
- 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。
- 1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。
- 1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。
- 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。
- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。

【課題がある項目】（肯定的回答が全国平均より少ない(3P以上)。▲は特に少ない(8P以上)。）

- ▲携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。
- △自分には、よいところがあると思いますか。
- △将来の夢や目標を持っていますか。
- △いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- △学校に行くのは楽しいと思いますか。
- ▲学校の授業時間以外に、普段1日1時間以上勉強をしますか。
- ▲土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日1時間以上時間勉強をしますか。

今回の調査での結果で、学校の取組として最も大きな成果を感じているのはICT教育の充実である。ICT教育に関わる発問に関しては、どの発問も全国、県を下回るものがなく、多くの発問が大きくポイントを上回っていた。普段、教職員が授業の中で当たり前のようにタブレット端末を使用している成果の表れではないかと思う。その反面、スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人との約束ごとがなかったり、守れていなかったりする生徒が全国平均よりもかなり多いことがわかった。2学期には、生徒、保護者ともに、情報モラル講演会を予定しているが、今後も様々な場面で啓発を行っていきたいと考えている。そして、ここ数年間の湯梨浜中学校の最も大きな課題だと感じているのが家庭学習時間の少なさである。今年度の3年生も、平日1時間以上
(裏面に続く)

日々の学校生活の様子はホームページでチェックしてください。
<https://www.torikyo.ed.jp/yurihama-j/>



家で勉強をしている生徒の割合が全国平均と比較して20%少なく、休日2時間以上勉強している生徒の割合も7%少なくなっている。当然この家庭学習時間の少なさが正答率にも影響していると考えられ、それが自己肯定感（自分には良いところがある）の低さ、将来の夢のなさにもつながっているのではないかと考える。そこでまずは、3年生において進路学習の取組を進めながら、家庭で学習する意義についても繰り返し指導していきたいと思う。さらに、日常の授業を今以上に充実させるためにも、協同学習の理念（クラス全員で協力して、みんなが勉強をわかるようになるろう）に基づいた学習を徹底させ、家庭でも学習したいと思えるような授業づくりを目指していきたい。それとともに、小中学校で連携して家庭学習時間の増加を目指すとともに、家庭での学習習慣づけの協力を保護者にも呼びかけていきたい。ただ、これらの対応はあくまでも全体での取組で、生徒個々の課題、弱点は1人ひとり違っている。そこで、当たり前のことではあるが、今後も個に応じたきめ細やかな指導を継続し、生徒1人ひとりの課題と向き合っていきたいと考えている。

1 学期反省アンケート（保護者）記述内容への返答

（意見1） 学校のホームページで学年の様子はわかるが、クラスでの様子がわからない。クラスだより等の発行もしていただけたら、クラスでの様子や雰囲気もわかり、教育の向上への手がかりも見つかるかもしれないと感じた。

（意見2） クラスのお便り発行は担任や学年で自由でしょうか？ 1、2年生の時の担任はよく発行してくださりクラスの取り組みや雰囲気がよくわかり良かったです。

（回答1） 学校の教員が学級通信を発行しようと思えば、その作成はほとんどの場合が時間外ということになります。現在、法律により時間外勤務は月45時間、年360時間を超えてはいけません。しかし、保護者のみなさんも報道等でご存じのとおり、教員の中には月45時間を超える時間外勤務をしている先生が何人もいます。特に中学校の教員には部活動があり、部活指導のほとんどは時間外に行っている現状があります。したがって、時間外勤務を減らさなければならぬ立場の管理職からすると、時間外勤務をして学級通信をつくるということを推奨することはできません。そこで、少しでも学校の様子を知っていただくため、平日はできるだけ毎日ホームページを更新するように心がけています。クラスごとの様子まではお伝えできませんが、今後も頑張って更新していきますので、ご理解をお願いします。

（意見3） 部活動においてクラブチーム所属の生徒は同じスポーツの部活動に所属してはならないというのはバドミントンだけだが、他のスポーツも同様にすべき。不公平感を感じるし、揉めごとの要因になっている。

（回答2） 生徒にはできるだけ希望する部に入部させてやりたいという思いがあります。ただ、ご理解をいただきたいのは、中学校としては湯梨浜中学校の選手として大会に出場する生徒の練習を優先に考えざるを得ないということです。まず、バドミントン部の練習会場は2コートしかなく、部員数を考えた時に十分な練習会場を確保するのが難しい状況がありました。さらに昨年度、顧問がいないときにクラブチーム登録の生徒が数少ないコートを優先的に使用し、湯梨浜中学校の選手として出場する生徒が思ったように練習ができないという問題点もありました。そこで、今年度ご意見のような対応をとらせていただきました。今後、他競技において中体連でのクラブチーム登録が増え、同じように問題が生じた場合は同様の処置をとることになると思います。例えば、野球やソフトボールのようにサインを使用する団体競技については、中体連でのクラブチーム登録があった時点でクラブチームの生徒の入部はお断りすることになると思います。また反対に、練習場所等が十分にあるのにも関わらず、部員数が少ない部活動については、クラブチーム登録の生徒が入部した方が湯梨浜中学校の選手として出場する生徒にとってもプラスになると考えられます。下線部のような基本的な考え方がありますので、一律同様に対応を決定するのではなく、今後も競技の特性練習場所、部員数等を総合的に考えて判断をさせていただきたいと思います。昨年度末の湯梨浜中学校では、中体連においてクラブチーム登録をしている生徒が同一競技に入部していたのはバドミントンだけでしたので、バドミントンについて対応を検討しましたが、今後同様の部が増えてくればその都度話し合っていきたいと思いますので、ご理解をお願いします。